

人 口

こ しま ひろし
小 島 宏

- はじめに
I 人口全般
II 出 生
III 死 亡
IV 移 動
V その他

はじめに

本稿が対象とする1980年代後半以降、途上国人口に関する研究がわが国でも急増しつつある。そして、量的な変化だけでなく、質的な変化も生じつつある。すなわち、1980年代までは途上国全般ないしアジアといった特定の世界地域を対象とした、外国の文献に基づく総論的研究が多かったし、実証研究としてはフィールド調査ないしマクロ（集計）データに基づくものが若干あった程度であった。しかし、最近ではアメリカの国際開発庁の資金提供による「人口保健調査」(DHS) やわが国の諸機関（たとえば、アジア人口・開発協会）が実施したサンプル調査のデータが利用可能になったことにより、特定の国々に関するミクロ（個票）データの実証分析、それも特定のテーマに絞ったものが増えている。このような細分化の傾向は、文献研究を含めた途上国人口研究全般について見られ、出生と移動に関するもの、人口高齢化に関するものが大

きな位置を占めている。また近年、人口・開発・環境の相互関係に関するものも増えてきている。

このようにミクロデータの分析の増加とテーマの細分化という意味では、国際的な人口研究の潮流に合わせてわが国の途上国人口研究は変化しているが、地理的な研究対象は相変わらずアジア、特に中国が中心で、急速な人口増加、都市化、HIV 拡散により国際的な注目を集めているサハラ以南のアフリカの研究は緒についたばかりである。また、政策志向的なものが少ないこともわが国における途上国人口研究の特徴であろう。『アジア経済』記念特集・テーマ編で「人口」を取り上げるのは今回が初めての試みであるため、以下においては人口全般、出生、死亡、移動、その他（人口高齢化および人口・開発・環境）のテーマに沿って、主要な文献を幅広く紹介することにする。

I 人口全般

すでに古典とも言える小林和正 [1984] はマクロデータの分析を中心としていたが、坪内 [1986] は主として文献研究に基づきつつもフィールド調査の成果を取り入れている。これに対して、鈴木・大塚編 [1987] は主としてフィ

ールド調査に基づくものである。また、日本大学人口研究所編 [1986]、趙利済 [1989] もマクロデータによる実証分析を含んでいる。なお、学術書ではないが、途上国を中心とする世界の人口に関する概説書として、ここ数年来、国連人口基金（旧称：国連人口活動基金）の『世界人口白書』の日本語訳が出版され（国連人口基金 [1987-95]）、途上国の最新の人口情勢を明らかにしている。途上地域全般に関する学術書としては小林・加藤編 [1993] があり、加藤壽延 [1993] と大淵 [1993] の総論のほか、石 [1993] のNIEs 諸国、牧野 [1993] のラテンアメリカ、吉田良生 [1993] のアラブ地域、西川 [1993] のインド、小島 [1993] のアフリカ、松下 [1993] のスリランカに関する各章から成る。

各国の人口全般について概説した書物としては、中国に関するものが圧倒的に多い。まず若林 [1989b] と早瀬編 [1992] が挙げられるが、後者には早瀬 [1992a, 1992b] の人口変動と結婚動向、若林 [1992b, 1992c] の人口政策と少数民族、大林 [1992] と黄榮清 [1992] の人口統計評価、佐藤龍三郎 [1992b, 1992c] の出生力変動と将来人口推計、上田 [1992] の死亡率変動、秋吉 [1992] の労働力、三好 [1992] の識字、川俣 [1992a] の1990年センサスに関する各章が含まれている。また、統計を中心としたものとして早瀬・川俣編 [1990, 1991] があり、訳書では早瀬・王編訳 [1994] がある。このほか文献資料集として若林編・杉山監訳 [1992]、一般向けの書物として加藤千洋 [1991]、莫邦富 [1992]、若林 [1994] がある。さらに、小林・吉田編 [1991] は石 [1991b] と畑井 [1991] の中国人口に関する各章を含む。

そのほかの各国別概説書としては、インドネ

シアについて鈴木編 [1988]、パプアニューギニアについて鈴木・大塚編 [1990] がある。なお、各国の人口全般に関する論文は、紙幅の都合で割愛する。

II 出 生

途上国の出生力を扱った書物としては、河野編 [1992] と河野・早瀬編 [1994] がある。前者は河野 [1992] の展望、早瀬 [1992d] の総論、佐藤龍三郎 [1992a] の生物人口学的分析、安蔵 [1992] の婚姻、大淵 [1992] の経済分析、小島 [1992] の出生政策、坂井 [1992] の都市化との関係、野田 [1992] の台湾の時系列分析、渡邊 [1992] の日本のコーホート分析、川俣 [1992b] のデータに関する各章から成る。後者はこれまでの統計資料シリーズと異なり、DHS データの実証分析を中心とする英文論文集で、河野 [1994] の国際比較分析、佐藤龍三郎 [1994] の近接要因と生物人口学的要因の分析、安蔵 [1994b] のタイにおける結婚・出生の分析、坂井 [1994] の世帯規模の分析、早瀬 [1994] の女子教育の影響の分析、大淵 [1994] の女子就業の影響の分析、小島 [1994b] のアフリカ6カ国におけるマスメディアの影響の分析、Uddin [1994] のバングラデシュに関する分析、野田 [1994] の台湾に関する時系列分析の各章から成る。

そのほか、ASEAN 諸国については高橋 [1991]、NIEs 諸国については津谷 [1991] の論文がある。中国については佐藤・西田 [1986]、佐藤・林 [1987, 1990]、黄榮清 [1991]、尹豪 [1992]、早瀬 [1992c]、沈潔 [1994]、津谷 [1993, 1994] の研究がある。他の国々については、愈

勲 [1987] と趙・洪・林 [1993] の韓国, 五十嵐 [1988] のインドネシア, 西川 [1986, 1993] のインド, 高田 [1993] のバングラデシュ, 西岡 [1988, 1991] のメキシコ, 藤田 [1994] のエジプトに関する研究がある。また, 藤野 [1994] の「児童労働仮説」に関する展望論文もある。

他方, 結婚力 (nuptiality) を扱った論文としては前述のもののほか, 安蔵 [1994 a] のアジア 3 カ国に関する研究がある。また, 結婚力とともに出生力の近接要因を構成する出生後の無月経期間については高坂 [1988] のインドネシア, 性交と流産の頻度については小島 [1994 a] のタイに関する研究がある。

III 死 亡

途上国の死亡力を扱った書物としては, 各国のマクロデータの分析から成る東南アジア研究所 (ISEAS) 編 [1986] と, 主として統計から成る早瀬編 [1986] がある。論文としては大塚柳太郎 [1989] の概説のほか, 勝野 [1988, 1989] のクロスナショナルなマクロデータの実証分析がある。各国別の分析としては前述の上田 [1992] の中国, 西川 [1989, 1994] のインドと周辺国, 前述の小島 [1994 a] のタイに関する研究がある。また, 死亡の近接要因である疾病については莊・趙・滝澤 [1988] の台湾, 鈴木 [1988] のインドネシアに関する研究がある。

IV 移 動

途上国の国内人口移動を扱った書物としては河邊編 [1991] があり, 河邊・廣嶋 [1991] の総論, 鄭還泳 [1991] の韓国, 渡辺 [1991] のタ

イ, 早瀬 [1991] の中国, 相原 [1991] のペルー, 河邊・井上 [1991] の移動モデル, 佐藤・河邊 [1991] の移動スケジュール, 河邊 [1991] のモデル移動率表, 佐藤・相原 [1991] の移動統計に関する各章から成る。また, 河邊編 [1988] も人口学的内容をもつ章を若干含む。さらに, 統計を中心としたものとしてはアジア経済研究所統計調査部編 [1989, 1990] がある。訳書として日中地理学会議編訳 [1992] があり, 人口学的内容をもつ章を含む。

そのほか, 東南アジア全般については中西 [1994] の研究, 中国については山岸 [1988], 加藤弘之 [1989, 1994], 巖善平 [1989], 若林 [1990 a, 1991, 1992 a], 石 [1991 a], 倉田・高 [1992], 前田 [1993] の研究がある。他の国々については, 韓柱成 [1989] の韓国, 谷・田上 [1986], 鳥飼 [1993] のフィリピン, 福井 [1987], 山形 [1989], 渡辺 [1988] のタイ, 平戸 [1988], 岸 [1990] のマレーシア, 笠井 [1988], 小野 [1987] のインドネシア, 嵯峨座 [1986] のインド, 小林正夫 [1992] のネパール, 佐藤克彦 [1988], 店田 [1986, 1993, 1994] のエジプトに関する研究がある。

他方, 国際人口移動についてアジアを中心に扱ったものでは, 書物として大塚友美 [1993], 論文として竹田 [1994] がある。そのほか, 若林 [1990 b], 早瀬 [1993 b] の中国, Osteria [1994] の在日フィリピン女性, 前述の吉田良生 [1993] の中東に関する研究がある。

V その他

人口高齢化について途上国のみを扱った書物はないが, 浜口・坂田編 [1992] には, 高岡

[1992]のアジア全般、店田[1992]の現代エジプトに関する各章のほか、途上国の人口高齢化に触れたものが若干含まれている。途上国全般については小島[1989]、アジア全般については小川[1988]の研究がある。そのほか、岡崎[1988]、黒田[1988]、吉田成良[1988]、若林[1989a]、早瀬[1993a]の中国、西岡[1992]のメキシコに関する研究がある。

他方、人口・開発・環境の相互関係を論じたものとして、書物では毎日新聞社編[1989]、論文では勝俣[1991]、大塚友美[1992]、小川[1992]、大田[1994]、張紀濤[1994]がある。また、地球サミットがあった1992年には、国連人口基金[1992]（国連人口基金の『人口と環境』の日本語訳）や、『厚生指針』編集部編[1992]（『地球環境と人口』に関する特集）のような概説書類も出された。さらに、途上国における人口と環境の関係についての研究の試みとして厚生省人口問題研究所編[1994]が挙げられる。

〔文献リスト〕

相原好江

- 1991 「ペルーの人口移動」河邊編[1991]: 109-138.

秋吉祐子

- 1992 「中国の経済体制改革以降の労働力と就業の構造的変化」早瀬編[1992]: 175-201.

アジア経済研究所統計調査部編

- 1990 『年齢別移動統計と移動パターン——日本、韓国、タイにおけるロジャースモデルの適用』（統計資料シリーズ54）アジア経済研究所。
1989 「発展途上国における都市人口規模の分布」（統計資料シリーズ52）アジア経済研究所。

安蔵伸治

- 1994 a 「晩婚化・晩産化・少産化の因果構造——アジア3ヶ国のDHSデータによる実証研究」『政経論叢』[明治大学] 62(4・5・6) 1994.3: 87-126.
1994 b “Marriage and Reproductive Behavior in Thailand.” 河野・早瀬編[1994]: 48-73.
1992 「婚姻に関する人口学的研究動向」河野編[1992]: 101-117.

五十嵐忠孝

- 1988 「西ジャワ・ブリアガン地方のスンダ人農民社会における早婚・多産の文化・社会的背景」『東南アジア研究』25(4) 1988.3: 593-624.

石 南國

- 1993 「アジア新興工業国群の成功と人口要因」小林・加藤編[1993]: 16-40.
1991 a 「中国の人口都市化と人口移動(1)」『城西大学大学院研究年報』(7) 1991.3: 57-63.
1991 b 「中国人口の分析」小林・吉田編[1991]: 113-144.

上田耕三

- 1992 「中国の死亡力変動とその要因」早瀬編[1992]: 147-174.

大田弘子

- 1994 「＜人口－経済発展－環境＞のトライアングル」（特集：世界と日本の人口問題——経済発展と環境との調和を求めて）『調査報告』[日本経済調査協議会] (4) 1994.9: 42-50.

大塚友美

- 1993 『国際労働移動の政治経済学』税務経理協会。
1992 「アジア諸国における経済開発・人口増加・環境破壊」『日本大学人文科学研究所紀要』(43) 1992: 207-222.

大塚柳太郎

- 1989 「途上国における健康と生存」『からだの科学』(140) 1989: 18-21.
- 大林千一
- 1992 「中国の人口静態統計の評価」早瀬編 [1992]: 61-92.
- 大淵 寛
- 1994 "Women's Employment and Fertility: Cases of Three Asian Developing Countries." 河野・早瀬編 [1994]: 112-132.
- 1993 「第三世界の人口成長と経済発展」小林・加藤編 [1993]: 133-149.
- 1992 「出生力の経済分析に関する理論的考察」河野編 [1992]: 119-144.
- 岡崎陽一
- 1988 「中国における人口・労働力の高齢化とその諸問題」『年金と雇用』7(3) 1988. 12: 24-40.
- 小川直宏
- 1992 「アジアにおける人口変動と経済成長——地球温暖化防止の視点から」『季刊環境研究』(86) 1992.6: 135-142.
- 1988 「人口高齢化の国際比較——アジアを中心として」『高齢化社会年鑑』編集委員会編『高齢化社会年鑑 '88~89』新時代社: 24-30.
- 小野敬子
- 1987 「インドネシアの移住政策」アジア人口・開発協会編『東南アジア諸国等人口・開発基礎調査報告書——インドネシア国』: 32-38.
- 笠井 象
- 1988 "Remittances of Out-Migrants to Their Original Families: Evidence from Two Indonesian Villages." 『人口学研究』(11) 1988.5: 15-30.
- 勝野真人
- 1989 "On the Relationship between Mortality Levels and Age Distributions of Deaths." 『人口学研究』(12) 1989.5: 1-10.
- 1988 「PMI による発展途上諸国の死亡力推計」『人口学研究』(11) 1988.5: 43-57.
- 勝俣 誠
- 1991 「地球環境と人口問題——南北問題の視点から」『行政管理』42(3) 1991.9: 10-16.
- 加藤千洋
- 1991 『中国の「一人っ子政策」——現状と将来』岩波書店.
- 加藤壽延
- 1993 「現代世界の人口問題と第三世界」小林・加藤編 [1993]: 1-15.
- 加藤弘之
- 1994 「農村工業化・都市化と人口流動——1980年代中国の経験」中兼和津次編『講座現代アジア 2 近代化と構造変動』東京大学出版会: 141-167.
- 1989 「中国における都市化と流動人口」『アジア交流』(54) 1989.7: 3-19.
- 河邊 宏
- 1991 「モデル人口移動率表」河邊編 [1991]: 209-228.
- 河邊宏・井上孝
- 1991 「人口移動モデル」河邊編 [1991]: 139-170.
- 河邊宏・廣嶋清志
- 1991 「人口移動と年齢、移動理由」河邊編 [1991]: 3-23.
- 河邊 宏編
- 1991 『発展途上国の人口移動』アジア経済研究所.
- 1988 『発展途上国の都市システム』アジア経済研究所.
- 川俣青子
- 1992 a 「中国1990年人口センサスの概要」早瀬編 [1992]: 303-327.
- 1992 b 「発展途上国における出生力調査と出生

- 統計資料——人口センサスを中心にして」
河野編 [1992]: 257-287.
- 岸 智子
1990 「人口集中の要因分析——半島マレーシアの例」『三田経済学研究』(37) 1990. 11: 1-13.
- 倉田和四生・高巍
1992 「現代中国の人口問題と北京の人口移動」『社会学部紀要』[関西学院大学] (65) 1992.3: 67-89.
- 黒田俊夫
1988 「中国高齢化の基本問題」『年金と雇用』7(3) 1988.12: 4-23.
- 厚生省人口問題研究所編
1994 『開発途上国における人口増加が地球環境問題に及ぼす影響に関する予備的研究報告書』(研究資料 第281号).
『厚生 の指標』編集部編
1992 「特集: 地球環境と人口」『厚生 の指標』39(13) 1992.11: 3-64.
- 河野綱果
1994 “A Comparative Study of Fertility Levels and Trends in the Developing Countries.” 河野・早瀬編 [1994]: 7-28.
1992 「発展途上国の出生力研究の展望と課題」河野編 [1992]: 3-31.
- 河野綱果編
1992 『発展途上国の出生率低下——展望と課題』アジア経済研究所.
- 河野綱果・早瀬保子編
1994 *Fertility in the Developing Countries: A Comparative Study of the Demographic and Health Surveys*. I.D.E. S.D. S. No. 66. Tokyo: Institute of Developing Economies.
- 国連人口基金(国連人口活動基金)
1992 『人口と環境——未来に挑む』世界の動き社.
1987-95 『世界人口白書』家族計画国際協力財団/世界の動き社.
- 小島 宏
1994 a 「タイ人口保健調査に基づく人口・環境問題の予備的分析」厚生省人口問題研究所編 [1994]: 89-105.
1994 b “Effects of Mass Media on Contraception and Fertility in African Countries.” 河野・早瀬編 [1994]: 133-151.
1993 「アフリカの人口動向と社会構造」小林・加藤編 [1993]: 96-113.
1992 「発展途上国における出生政策」河野編 [1992]: 145-178.
1989 「途上国援助における人口高齢化研究——全米科学アカデミー高齢化人口学ワークショップの報告を中心に」『人口問題研究』45(3) 1989.10: 66-76.
- 小林和正
1984 『東南アジアの人口』創文社.
小林和正・加藤壽延編
1993 『第三世界の人口と経済開発』大明堂.
小林和正・吉田忠雄編
1991 『ソ連・東欧と中国の人口問題』千倉書房.
小林正夫
1992 「ネパールにおける経済開発と人口流動」『人文科学紀要(人文地理学 XI)』[東京大学] (95) 1992.3: 55-83.
- 坂井博通
1994 “Socio-demographic Factors Affecting the Household Size.” 河野・早瀬編 [1994]: 74-89.
1992 「発展途上国における都市化と出生力」河野編 [1992]: 179-198.
- 嵯峨座晴夫
1986 「都市化の諸側面」アジア人口・開発協会編『東南アジア諸国等人口・開発基礎調査報告書——インド国』: 17-32.
- 佐藤克彦
1988 「エジプトの都市化と人口移動」河邊編

- [1988]: 117-146.
- 佐藤克彦・相原好江
1991 「人口移動統計」河邊編 [1991]: 229-251.
- 佐藤克彦・河邊宏
1991 「移動スケジュールの国際比較」河邊編 [1991]: 171-208.
- 佐藤龍三郎
1994 "Impacts of Contraception, Breast-feeding and Infant Mortality on Fertility." 河野・早瀬編 [1994]: 29-47.
1992 a 「出生力の生物人口学的分析に関する研究動向」河野編 [1992]: 81-99.
1992 b 「中国の出生力変動とその要因」早瀬編 [1992]: 113-145.
1992 c 「中国の将来人口推計」早瀬編 [1992]: 287-301.
- 佐藤龍三郎・西田茂樹
1986 「中国における1950年より1979年までの出生率の時系列分析——とくに人口政策との関連について」『民族衛生』52(2) 1986.3: 54-64.
- 佐藤龍三郎・林謙治
1990 「中国の出生力低下の近接要因に関する一考察」『民族衛生』56(3) 1990.5: 131-141.
1987 「中国における出生抑制要因についての研究——1981~1982年の地域別出生力と社会経済的関連要因の分析」『民族衛生』53(5) 1987.9: 236-246.
- 鈴木庄亮
1988 「スダ農民の保健生態と生活環境」『東南アジア研究』25(4) 1988.3: 525-544.
- 鈴木庄亮編
1988 *Health Ecology in Indonesia*. Tokyo: Gyosei Corporation.
- 鈴木継美・大塚柳太郎編
1990 *Population Ecology of Human Survival: Bioecological Studies of the Gidra in Papua New Guinea*. Tokyo: University of Tokyo Press.
- 1987 *Human Ecology of Health and Survival in Asia and the South Pacific*. Tokyo: University of Tokyo Press.
- 高岡優子
1992 「アジアにおけるエイジング」浜口・坂田編 [1992]: 3-14.
- 高坂宏一
1988 「西ジャワ・スダ農村婦人の出産後の無月経期間」『東南アジア研究』26(1) 1988.6: 55-63.
- 高田峰夫
1993 「早婚・多産・女性の立場——バングラデシュ・村部ムスリムの場合に関する一試論」『東横学園女子短期大学女性文化研究所紀要』(2) 1993: 1-25.
- 高橋真一
1991 「アジアの出生力転換試論——ASEANを例として」『人口学研究』(14) 1991.5: 74-78.
- 竹田いさみ
1994 「『人』の国際移動——現代アジア地域における移民と難民」平野健一郎編『講座現代アジア 4 地域システムと国際関係』東京大学出版会: 101-127.
- 店田廣文
1994 "Structural Change of Internal Migration in Egypt, 1976-86." 『日本中東学会年報』(9) 1994.3: 165-196.
1993 「エジプトの人口移動と社会変動」『人間科学研究』[早稲田大学] 6(1) 1993.3: 73-96.
1992 「現代エジプトの高齢者」浜口・坂田編 [1992]: 185-198.
1986 「エジプト地方都市の発展と人口移動——1966~1976年の動向を中心に」『社会科学討究』[早稲田大学] 31(3) 1986.

4: 181-214.

谷勝英・田上喜美

- 1986 「アジアにおける大都市圏への人口集中に伴う都市化現象の比較考察——マニラ・東京大都市圏を例として」『日本都市学会年報』(19) 1986.3: 60-73.

坪内良博

- 1986 『東南アジア人口民族誌』勁草書房.

津谷典子

- 1994 “Progression to Second and Third Births in Rural Jilin, China: Trends and Covariates.”『人口学研究』(17) 1994.5: 15-32.
- 1993 「中国における出生力変化と家族——吉林省農村の場合」『家族社会学研究』(5) 1993.7: 13-21.
- 1991 「出生力転換理論再考——NIESの場合を中心として」『人口学研究』(14) 1991.5: 49-66.

東南アジア研究所 (ISEAS) 編

- 1986 『日本とアセアン諸国における死亡率の社会経済的相関に関する研究』総合研究開発機構.

鳥飼行博

- 1993 「開発途上国における国内人口移動」『行動科学研究』(44) 1993.11: 31-54.

中西 徹

- 1994 「東南アジアにおける農村都市間人口移動と都市化」中兼和津次編『講座現代アジア 2 近代化と構造変動』東京大学出版会: 169-205.

西岡八郎

- 1992 「ラテンアメリカの高齢者と家族——メキシコの場合を中心に」『ヒューマンサイエンス』5(1) 1992.7: 50-65.
- 1991 「人口過程の分析——メキシコの事例」『ラテン・アメリカ論集』(25) 1991.11: 41-44.
- 1988 「メキシコにおける人口問題と人口政

策」『社会学年誌』[早稲田大学] (29) 1988.3: 57-76.

西川由比子

- 1994 「インドおよび周辺諸国の死亡水準の変化」小林和正・大淵寛編『生存と死亡の人口学』大明堂: 98-119.
- 1993 「人口巨人国の伝統文化と人口行動——インドの社会経済発展と再生産行動」小林・加藤編 [1993]: 76-95.
- 1989 「家族計画政策へのアプローチ——乳児死亡率の決定要因とその役割」『国際協力研究』5(2) 1989.10: 61-72.
- 1986 “Differential Factors of Fertility in South India.”『人口学研究』(9) 1986.5: 17-29.

日中地理学会議編訳

- 1992 『アジアの都市と人口』古今書院.

日本大学人口研究所編

- 1986 『転換期のアジア人口』時潮社.

野田容助

- 1994 “Mutual Dependency between Fertility and Socio-economic Factors: Multivariate Time Series Analysis——The Case of Taiwan.”河野・早瀬編 [1994]: 181-197.
- 1992 「発展途上国出生力の時系列分析——台湾地域への応用」河野編 [1992]: 199-228.

畑井義隆

- 1991 「中国の人口政策の課題」小林・吉田編 [1991]: 145-166.

浜口晴彦・坂田正顕編

- 1992 『世界のエイジング文化』早稲田大学出版部.

早瀬保子

- 1994 “A Comparative Analysis of Women's Education and Fertility.”河野・早瀬編 [1994]: 90-111.
- 1993 a 「中国における高齢化と社会的対応」福

- 地義之助・冷水豊編『長寿社会総合講座
第10巻 高齢化対策の国際比較』第一法規：145-164.
- 1993 b "International Migration in China."
In University Research Center, Nihon
University, *Economic and Social De-
velopment in East Asia: Policies,
Management and Population*. Tokyo:
243-269.
- 1992 a 「中国の婚姻法と配偶関係構造の変化」
早瀬編 [1992] : 233-257.
- 1992 b 「中国の人口変動とその要因」早瀬編
[1992] : 3-32.
- 1992 c 「中国における人口政策と出生率」河野
綱果・岡田實編『低出生力をめぐる諸問
題』大明堂：69-89.
- 1992 d 「発展途上国の出生力の動向と要因」河
野編 [1992] : 33-79.
- 1991 「中国の人口移動」河邊編 [1991] : 81-
108.
- 早瀬保子編
- 1992 『中国の人口変動』アジア経済研究所.
- 1986 『発展途上国の死亡率と死因構造の変
化』(統計資料シリーズ48) アジア経済
研究所.
- 早瀬保子・川俣青子編
- 1991 『中国の人口政策と人口動態統計』(統
計資料シリーズ56) アジア経済研究所.
- 1990 『中国の人口統計』(統計資料シリーズ
55) アジア経済研究所.
- 早瀬保子・王勝今編訳
- 1994 『中国の都市人口と生活水準——瀋陽
長春 ハルビン』(翻訳シリーズ34) ア
ジア経済研究所.
- 平戸幹夫
- 1988 「新経済政策下のマレーシアの人口分布
の変動」堀井健三・萩原宜之編『現代マ
レーシアの社会・経済変容——ブミブト
ラ政策の18年』アジア経済研究所：235-
284.
- 福井捷朗
- 1987 「東北タイ・ドンデーン村：人口動態
(第2報)——死亡・出生率による人口移
動の推定」『東南アジア研究』25(3)
1987.12 : 476-494.
- 藤田純子
- 1994 「エジプトにおける人口政策と家族計画」
『家族関係学』(13) 1994.10 : 25-33.
- 藤野敦子
- 1994 「発展途上国における『児童労働仮説』
に関する実証研究——展望」『大阪大学
経済学』44(1) 1994.6 : 79-92.
- 毎日新聞社編
- 1989 『地球環境の危機——人口・環境・開発』
毎日新聞社.
- 前田比呂子
- 1993 「中華人民共和国における『戸口』管理
制度と人口移動」『アジア経済』34(2)
1993.2 : 22-41.
- 牧野文夫
- 1993 「ラテンアメリカ諸国の経済的挫折と人
口・労働市場」小林・加藤編 [1993] :
41-57.
- 松下敬一郎
- 1993 「島嶼国家の人口と経済——スリランカ
の事例を中心に」小林・加藤編 [1993] :
114-132.
- 三好 章
- 1992 「現代中国の識字運動とその成果」早瀬
編 [1992] : 203-231.
- 山形辰史
- 1989 「途上国大都市への人口移動——タイ国
を事例として」『アジア経済』30(9) 1989.
9 : 37-45.
- 山岸 猛
- 1988 「中国の国内人口移動管見」『国際研究
論集』[八千代国際大学] 1(3・4) 1988.
10 : 277-344.

- 吉田成良
1988 「中国の高齢化問題——上海の実状」『年金と雇用』7(3) 1988.12: 64-72.
- 吉田良生
1993 「アラブ地域の国際労働移動」小林・加藤編 [1993]: 58-75.
- 若林敬子
1994 『中国 人口超大国のゆくえ』岩波書店.
1992 a 「中国の人口爆発と流動人口の増大——90年センサス結果より」『中国経済』(319) 1992.7: 10-31.
1992 b 「中国の少数民族」早瀬編 [1992]: 259-286.
1992 c 「中国の人口政策——計画出産」早瀬編 [1992]: 33-60.
1991 「中国における近年の人口流動をめぐる一考察」『アジア経済』32(4) 1991.4: 72-92.
1990 a “Migration from Rural to Urban Areas in China.” *Developing Economies* 28(4) Dec. 1990: 503-523.
1990 b 「中国における人口流動“盲流”——就学生・偽装難民流出の背景」『人口問題研究』46(1) 1990.4: 35-50.
1989 a 「中国の人口政策と家族・老人扶養問題」『家族社会学研究』(1) 1989.7: 67-80.
1989 b 『中国の人口問題』東京大学出版会.
- 若林敬子編・杉山太郎監訳
1992 『ドキュメント: 中国の人口管理』亜紀書房.
- 渡辺真知子
1991 「タイの人口移動」河邊編 [1991]: 53-79.
1988 「タイの経済発展と国内人口移動——1970年代の変化を中心として」『アジア経済』29(2) 1988.2: 25-47.
- 渡邊吉利
1992 「人口転換期における日本のコウホート出生力低下過程」河野編 [1992]: 229-255.
- 愈 勲
1987 「韓国の家族計画」『周産期医学』17(2) 1987.2: 229-233.
- 鄭還泳
1991 「韓国の人口移動」河邊編 [1991]: 25-52.
- 趙南勲・洪文植・林謙治
1993 “Analysis of Factors Contributing Fertility Decline in Korea.” 『民族衛生』59(6) 1993.11: 271-283.
- 趙利済
1989 『アジア太平洋地域の経済発展と人口転換』時潮社.
- 韓柱成
1989 「人口移動からみた韓国の都市群システム」『東北地理』41(4) 1989.12: 213-224.
- 黄榮清
1992 「中国の人口動態統計の評価」早瀬編 [1992]: 93-112.
1991 『中国の人口政策と出生力変動』(V. R. F. Series No. 191) アジア経済研究所.
- 莫邦富
1992 『独生子女——爆発する中国の人口最新レポート』河出書房新社.
- 沈 潔
1994 「開発に伴う中国女性の出産意識の変化について——少子化と重男軽女化」『アジア女性研究』(3) 1994.3: 57-62.
- 嚴善平
1989 「中国における都市化の展開と人口・労働力の移動」『アジア経済』30(7) 1989.7: 2-24.
- 尹 豪
1992 「新中国40年の出生力動向」『経済学論纂』[中央大学] 33(4) 1992.9: 55-70.

張紀濤

- 1994 「中国の人口抑制政策と経済発展」『城西大学経済経営紀要』13(1) 1994.12 : 57-86.

莊國寶・趙睦男・滝澤行雄

- 1988 「台湾における中高年者の疾病と受療状況」『厚生指標』35(2) 1988.2 : 9-12.

Osteria, Trinidad S.

- 1994 *Filipino Female Labour Migration to Japan: Economic Causes and Consequences*. V.R.F. Series No. 225. Tokyo: Institute of Developing Economies.

Uddin, M. Mosleh

- 1994 "Trends and Patterns of Fertility in Bangladesh." 河野・早瀬編 [1994] : 152-180.

(厚生省人口問題研究所人口政策研究室長)